

設備職 平成30年入団

電機課所属

業務全てが安心安全な 水道の維持に繋がる

—これまでどんな仕事をしてきましたか

工事監督、浄水場の運転管理、電気設備や機械設備の点検、配管修理やポンプの交換作業、施設の将来構想の検討や脱炭素施策の検討等の業務を行ってきました。

水道事業の運営には、機械や電気などのプラントや水運用、エネルギー、通信、管路、土木、建築、水質、法律、経営、財務、人事、広報など様々な分野が関わるため、今後も新しい知識の獲得できる仕事の尽きない職場環境だと感じており、新しい知識を得ることのできる仕事は、自身の成長につながっていると実感できるため楽しく感じます。

一方で浄水場の電気設備の点検のために、数百点の設備を停止するための手順書を作成した仕事は、誤った手順書で作業すると電気事故や、浄水場の水処理に影響がでるトラブルにつながることから、何度も図面や現場を確認し、入念に当日の作業のイメージをする必要があったため、大変だと感じました。実際の点検作業は、先輩方にもご協力いただいたことで不備の無い手順書を作成できたため、無事に完了させることができました。

今までに様々な資料を読んだり、積極的に現場を見て回ったりして、幅広い知識を獲得することに注力してきました。当企業団には過去の検討や研究の資料が大量に残存しているため、まだ一部分しか資料を読むことはできていませんが、今後も継続して知識の獲得には励み、業界の新しいトレンドと過去の企業団の知見を融合させた水道施設の構築に努めたいと思います。

—今はどんな仕事に従事していますか

浄水場での浄水処理で発生した汚泥を減容化処理して搬出するための設備である、排水処理施設の能力増強に関する設計業務を行っています。排水処理施設は機能停止してしまうと浄水場での浄水処理ができなくなってしまう重要な施設であるため、機能維持の安全性を重視したうえで、より効率的で運転管理のしやすい施設の設計を目指して日々の業務に取り組んでいます。

また、その他にも脱炭素推進プロジェクトチームで企業団の脱炭素施策の検討をする業務や、自所属のオフィスレイアウトを検討する業務など、多岐にわたる業務に携わっています。



生涯をかけて取り組める職場

一企業団の仕事のやりがいはなんですか

すべての業務が安心安全な水道事業の維持のためにつながることがやりがいであり、最大の魅力です。

浄水場等の運転管理や施設の計画を立てるような技術職の業務だけでなく、財務や人事、広報などの行政職の業務も、すべてが安心安全な水道事業の維持につながっているため、全職員が同じ志を持って業務をしている点が、当企業団の魅力であると感じます。

一職場の雰囲気について教えてください

温厚な性格の職員が多いと感じます。

設備に関して同僚に質問をしたとき、その場では「わからない」と回答されても、後で「さっきの件、調べてみたら、こういうことだったよ」と、わざわざ調べて教えてくれる方が多い職場環境です。

一趣味やストレス解消法について教えてください

休日や通勤での片道約 10km のサイクリング、平日の仕事の後にバドミントンをするなどの体を動かすことや、当企業団の浄水場で作った軟水の水道水を使って、家族とゆっくり紅茶を飲むことでもストレスを解消しています。当企業団は休暇も取りやすい風土の職場であるため、平日に休暇を取得し、長距離のサイクリングをしてリフレッシュしたりもします。



一将来の目標、目指していることについて教えてください

水道事業について、幅広い知識の取得や多くの経験を積むことで、「この人に聞けば何か知っているかも！」と言われるような人材になりたいです。

また、水道事業とは切っても切り離すことのできない、エネルギーの問題についても知見を広げ、積極的に水道事業に活かすこと目指したいです。

一受験者の方にメッセージをお願いいたします

当企業団では、神奈川県という地域に根差した環境で、生涯をかけて水道事業の仕事に取り組むことができます。

一つのことを極める仕事とプライベートの充実の両立を目指したい方には、ぴったりの職場環境であると思いますので、ぜひエントリーしていただき、一緒に水道の仕事しましょう！



※内容はインタビュー当時の内容になります。